

239-596

AU 314

48511

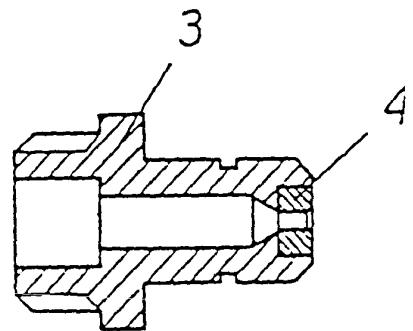
JA 0226611 ✓
NOV 1385

(54) NOZZLE

(11) 60-226611 (A) (43) 11.11.1985 (19) JP
(21) Appl. No. 59-82179 (22) 24.4.1984
(71) MATSUSHITA DENKI SANGYO K.K. (72) SHIGEKI UNO
(51) Int. Cl. F23D14/48//B05B1/00

PURPOSE: To prevent roughening of the inner surface of a nozzle and to enable amount of fuel supplied to always be kept at a specified value, by a method wherein a nozzle mounting part on the fuel feed side and the minimum size part of a nozzle for controlling an amount of fuel supplied are formed separately from each other.

CONSTITUTION: A nozzle mounting part 3 on the fuel feed side is formed by brass excellent in machining properties, and a minimum size part 4 of a nozzle is formed by stainless excellent in resistance to corrosion. The minimum size part 4 is pressure-fit in the nozzle mounting part 3 to form them into a one-piece nozzle. As noted above, the nozzle mounting part and the minimum size part of the nozzle are formed separately from each other, and this improves machining properties, and the nozzle is also increased in size, resulting in elimination of a fear of poor ignition occurring or capacity being lowered.



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開特許公報 (A)

昭60-226611

⑫ Int.Cl.

F 23 D 14/48
// B 05 B 1/00

識別記号

庁内整理番号

6929-3K
7112-4F

⑬ 公開 昭和60年(1985)11月11日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 ノズル

⑮ 特願 昭59-82179

⑯ 出願 昭59(1984)4月24日

⑰ 発明者 宇野茂岐 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

⑱ 出願人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地

⑲ 代理人 弁理士 中尾敏男 外1名

2 ページ

明細書

1、発明の名称

ノズル

2、特許請求の範囲

- (1) 燃料供給側のノズル取付部と、燃料供給量を規制するノズルの最小径部とを異種材料で作成し、前記ノズル取付部と、前記ノズルの最小径部とを接合し1つのノズルとする構成としたノズル。
- (2) ノズル取付部の材質を黄銅に、前記ノズルの最小径部の材質をステンレスにする構成とした特許請求の範囲第1項記載のノズル。
- (3) ノズル取付部の材質を黄銅に、前記ノズルの最小径部の材質をセラミックスにする構成とした特許請求の範囲第1項記載のノズル。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、燃焼機器の燃料噴出部であるノズルに関するものである。

従来例の構成とその問題点

従来のノズルは、第1図に示すようにノズル1

全体が黄銅で作られており、長時間使用するに従い、黄銅が脱亜鉛現象を起こしたり、燃料中の成分により黄銅が腐食されたりして、ノズル1の内面が荒れ、この荒れに浮遊物が、付着したりしてだんだんノズルの最小径部2の径が小さくなり、その結果燃料供給量が少なくなり、点火不良や、能力の低下などを引き起していた。

発明の目的

本発明は上記従来の欠点を解消するもので、ノズルの最小径部の径が小さくなるのを防止することを目的とする。

発明の構成

上記目的を達成するため、本発明のノズルは、燃料供給側のノズル取付部と燃料供給量を規制するノズルの最小径部とを分割し、前記ノズル取付部は加工性に富んだ材料で、また前記ノズルの最小径部は耐食性の強い材料で製作し、この二部品を合体させ1つのノズルとする構成であり、常に燃料供給量を一定に保つことができ、点火不良や能力低下が防げると共に、ノズル取付部とノズル

3 ページ

の最小径部と分割することにより加工性を向上させることができると共に、材料費も抑えることができるという効果を有するものである。

実施例の説明

以下、本発明の一実施例について、図面に基づいて説明する。

第2図は本発明の一実施例の全体構成図である。3は燃料供給側のノズル取付部で、4は燃料供給量を規制するノズルの最小径部である。

3のノズル取付部は加工性に富んだ黄銅であり、4のノズルの最小径部は耐食性に優れたステンレスであり、3のノズル取付部に4のノズルの最小径部を圧入して1つのノズルを形成している。

発明の効果

以上のように本発明によれば次の効果を得ることができる。

- (1) ノズル径が小さくなつて点火不良や、能力低下を起こす心配がなくなる。
- (2) ノズル全体を耐食性に優れた材料で作るのに比較して低コストでできる。

(3) ノズルを取りはずしあうじをする手間がいらなくなると共に、ノズル取りはずしを考慮する必要がなくなり機器の構成がらくになる。

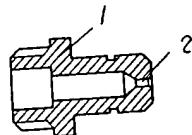
4、図面の簡単な説明

第1図は従来のノズルの断面図、第2図は本発明の一実施例であるノズルの断面図である。

1 ……ノズル、2 ……ノズルの最小径部、3 ……ノズルの取付部、4 ……ノズルの最小径部。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

第1図



第2図

